

RENPOUDO
SUMMER
COLLECTION



文月
優遊

文 月 優 遊

RENPOUDO
SUMMER
COLLECTION

Gion Kyoto Fine Art

OKUDA RENPOUDO

1.

三彩貼花文鳳首瓶

加藤 卓男

共箱

昭和 - 平成

人間国宝

口径12cm×5cm 胴径17.5cm 高さ32cm

口の部分に鳳凰が象られた瓶です。鳳凰の部分や胴部分に、様々な細工や貼文が細やかに施された逸品です。卓男は、昭和55年に宮内庁正倉院より正倉院三彩の復元制作を委嘱され、約9年の研究の末、「三彩鼓胴」「二彩鉢」を納入しました。このような功績により、人間国宝に認定されました。作品の裏には卓男氏の「卓」の文字が刻まれてあります。



2.

青釉人面獣文手付花入

加藤 卓男

共箱

昭和 - 平成

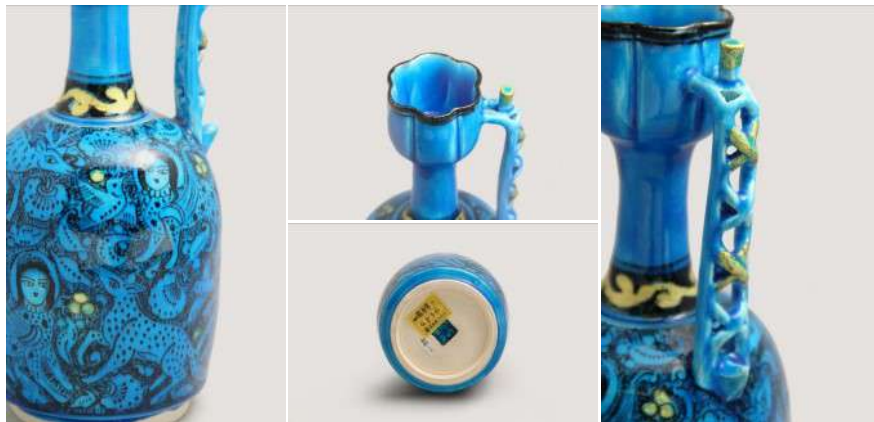
人間国宝

口径5.5cm 胴径11cm 高さ24.5cm

加藤卓男は、古代ペルシア陶器の斬新な色彩や独創的な造形、釉調に魅力を感じ、西アジアでの長年の発掘研究を経て、滅び去った幻の名陶ラスター彩の復元をはじめ、青釉、三彩、ペルシア色絵など、高い芸術性を持つ異民族の文化と日本文化との融合に成功しました。

本作もその影響をうけた作品のひとつで、胴には所狭しと絵付けがされています。

高台には「卓」銘があります。



3.

碧釉銀華花生

加藤 卓男

共箱

昭和 - 平成

人間国宝

口径11cm 胴径21cm 高さ28.5cm

全体的に鮮やかな発色の美しいペルシャブルーの青釉が使われ、肩から胴のあたりは雪のように白く輝いています。品名の「銀華」はこの部分からとられているのでしょう。

高台には「卓」銘があります。



4.

釉裏紅魚文花瓶

楠部 弥弍

共箱

昭和

口径13cm 胴径25.5cm 高さ30cm

鮮やかな赤色で小さな魚が描かれている作品です。
この赤色の部分は釉裏紅（ゆうりこう）と呼ばれるもので、中国の元時代の景德鎮で作り始められたとされる技法です。暑い季節に床の間に飾ると、見る人に涼を運んできてくれるような作品です。

楠部彌弍は、京都市生まれの陶芸家で大正から昭和にかけて活躍しました。作風は多技多彩で知られます。技法は違っても作品の出来にばらつきがなく、どれも優れた完成度の高い作品です。また、後進の指導にも尽力し、多くの弟子を育てました。



5.

練上嘯裂壺

松井 康成

共箱

昭和-平成

人間国宝

口径2.4cm 胴径14cm 高さ11cm

松井康成は、色の異なる土を重ねたり練り合わせたりして文様のある生地 of 土を作り成形する、練上という手法を極め、人間国宝となりました。

練上の技法を極める中で、表面にあえて傷をつけ、裂け目を模様として生かす嘯裂という技法を編み出しました。本作にもこの技法が用いられています。高台に「康」の彫銘があります。



6.

唐津白地黒搔落壺

14代 中里 太郎右衛門

共箱

平成 -

口径13.8cm 胴径31cm 高さ28.5cm

搔き落としの技法は、素地に黒色の土を塗り、一部を削り取り、文様を描くという装飾法です。「花鳥風月」の文字が書かれています。

高台には「十四代中里太郎右衛門」と彫られています。

中里家は代々、肥前国唐津藩の御用焼物師で、太郎右衛門は初代よりその当主が代々受け継ぐ名前です。14代中里太郎右衛門は、桃山時代の古唐津を復興させた人間国宝・中里無庵を祖父に持ち、現代的な装飾で唐津に新たな方向性を示したとされる日本藝術院会員・中里逢庵を父に持ちます。



7.

色絵草刈童子置物

永楽 即全

共箱

昭和 - 平成

径14cm 高さ8cm

草刈童子は、病除けの願いを込め、薬草を刈る子供の姿をうつしたものです。
籠の蓋と鎌が外れるようになっています。



8.

仁清写兜香合

永楽 即全

共箱

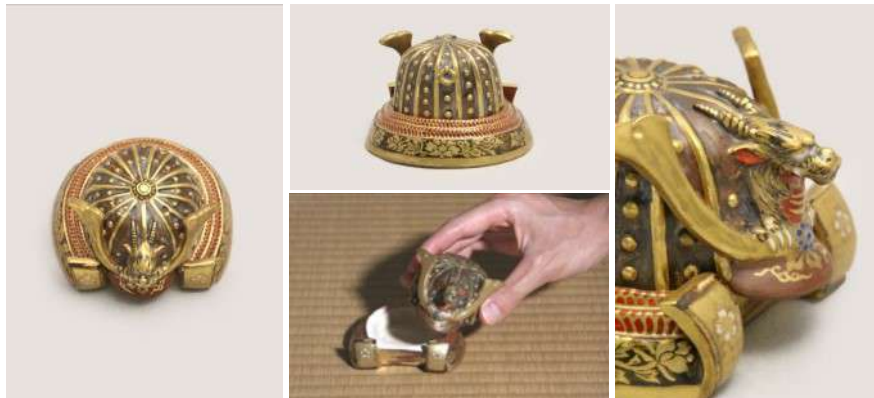
昭和 - 平成

径8.5cm×8.5cm 高さ6cm

兜の形をした香合です。細かな造形と細かな絵付けがされています。兜の前方部分（前立て）には、龍が装飾されています。

高台には「河濱支流」の印が押されています。

11代保全が1827年に、紀州藩10代藩主徳川治寶の別邸西浜御殿の御庭焼開窯に招かれ、作品を賞して河濱支流の金印と永楽の銀印を拝領しました。



9.

仁清写兔置物

永楽 即全

共箱

昭和 - 平成

径11.5cm×10.5cm 高さ16.5cm

宝珠を手に持った兔の置物です。
梅と楓の文様が描かれた服を着ています。





10.

草花図扁壺

河井 寛次郎

共箱

昭和

口径11cm 胴径17.5cm×13cm 高さ22.5cm

肩の張った堂々とした形の壺です。両面には躍動感のある草花の図が描かれています。辰砂の赤色も色鮮やかです。

類似品が「京都国立近代美術館所蔵作品集 川勝コレクション 河井寛次郎」の図録に掲載されています。

昭和14（1939）年頃の制作になっています。



11.

青瓷鉢

河井 寛次郎

河井武一極箱

大正

径16.5cm 高さ12cm

柳宗悦が提唱した民藝運動に参画する前の、中国や朝鮮の古陶磁を模範とした初期に制作された作品です。初個展での作品の完成度の高さから、「突如、彗星が現われた」と絶賛され報道されたことで、寛次郎の名が広く知られました。

高台内に「鐘溪窯」の印があります。

河井寛次郎の甥である河井武一の箱書きがあります。



12.

柿釉窓絵方壺

濱田 庄司

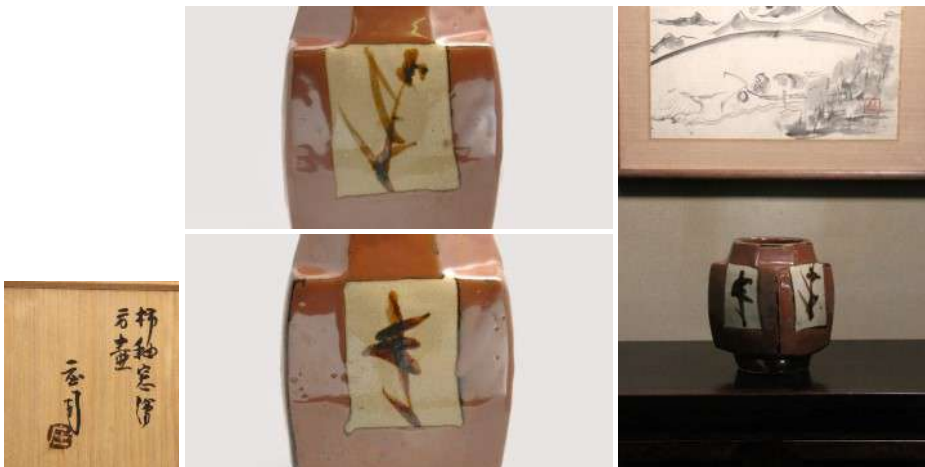
共箱

昭和

人間国宝

口径13cm×13cm 胴径16.5cm×16.5cm 高さ22cm

この方壺は濱田独特の形で、型によるものです。方形の胴部に八角形の広い口が付き、中国古代の「琮（そう）」と呼ばれる玉器を彷彿とさせます。その造形は斬新で力強く、かつ安定感に富んでおり、いかにも濱田らしい骨太な魅力が感じられます。



13.

色絵金彩花字皿 5客組

富本 憲吉

共箱

昭和

人間国宝

径15.8cm 高さ2cm

見込みに「花」の字が染付で書かれたお皿です。
花の字の周りに赤絵と金彩を用いて円が描かれています。
「富本憲吉の陶磁器模様」に類似品が掲載されています。

富本憲吉は、人間国宝や文化勲章を受賞しました。
バーナード・リーチと親交が深く、東京美術学校や京都市
立美術大学で教授として教え、藤本能道、近藤悠三、田村
耕一、加守田章二らを指導しました。



14.

白菊飾皿

六代 清水 六兵衛

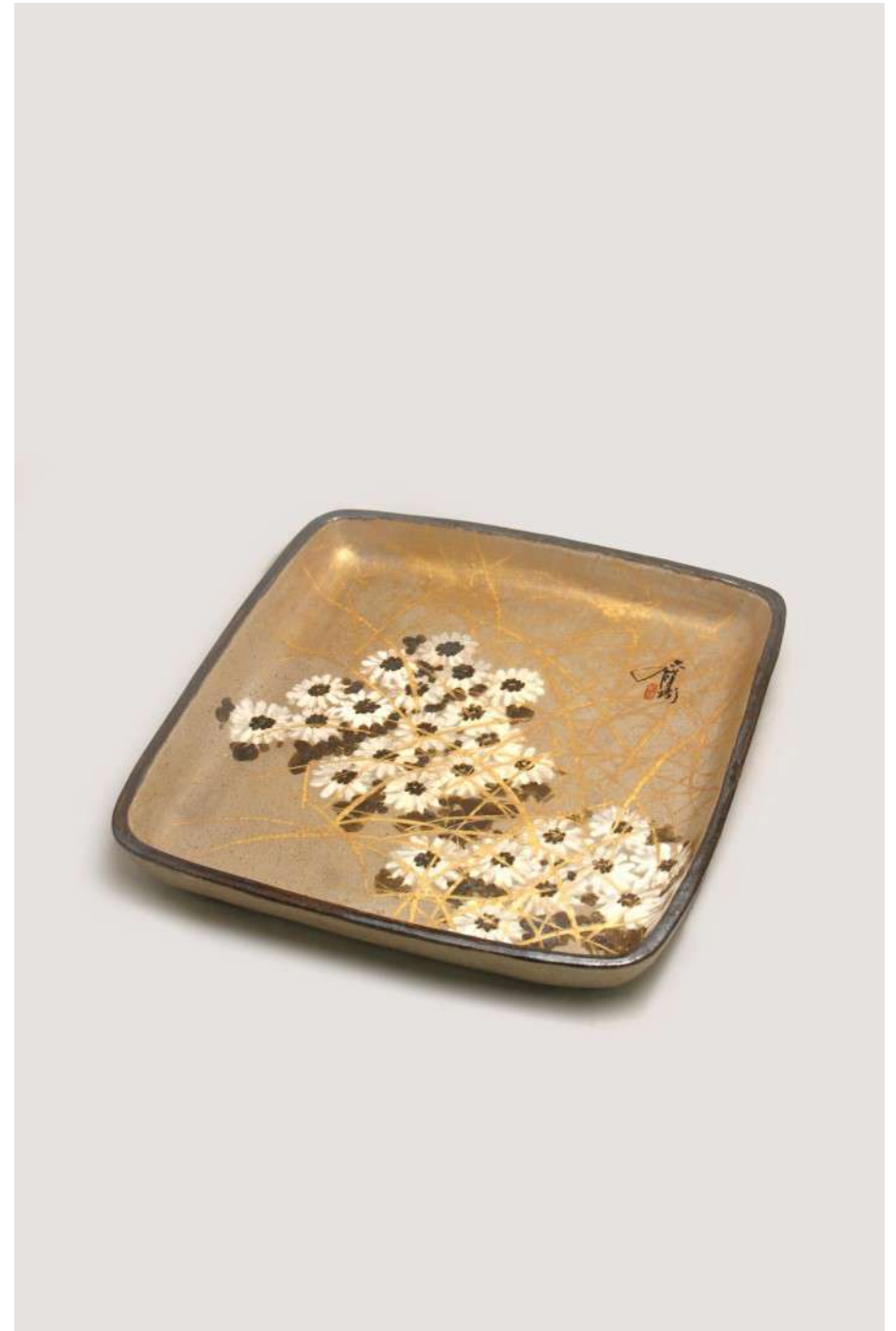
共箱

昭和

径31.5cm×31.5cm 高さ3.5cm

白菊と金彩でススキが描かれたお皿です。
右上に六兵衛の描銘があり、裏側には「清」印があります。

清水六兵衛は、江戸時代中期以来の清水焼陶工の名跡です。
六代六兵衛は、京都市立絵画専門学校で、竹内栖鳳や山元春
挙らに日本画を学びました。



15.

染付半開扇向付 10客組

永楽 妙全

共箱

明治 - 昭和

径22cm×11cm 高さ3cm

扇が半分開いた形で、山水図が描かれています。
もとは中国 明時代末の古染付の器であり、
それを模しています。三つ足になります。



16.

熨斗蒔絵煮物椀 10客組

径13.8cm 高さ10cm

蓋の表には水引が蒔絵され、内側には蓋と身の両方に熨斗が蒔絵されています。
蓋の摘みや高台の部分は、水引に合わせて凹凸が作られています。



17.

古伊万里 染付鴨図七寸皿 5客組

江戸時代

径20.5cm 高さ3cm

上部分は青海波文様が描かれており、右下には鴨が2羽描かれています。遊び心でしょうか、1客のみ鴨が1羽だけ描かれています。

1客のみ高台の中央に窯キズがあります。



18.

古赤絵コーヒー呑 6客組

永楽 妙全

共箱

明治 - 昭和

カップ：径8cm 高さ5.4cm

ソーサ：径13cm 高さ2cm

吉兆を知らせる霊獣である鳳凰とその鳳凰が宿る木として神聖視された桐が描かれたコーヒーカップです。
見込みは白地になります。



19.

吸坂手 向付 5客組

江戸時代

径17.5cm×12cm 高さ5.5cm

全体に茶色の鉄釉がかかり、三つ足になっています。扇を広げたような不思議な形をしています。吸坂と言う名前は石川県の加賀地方の焼物を焼いた地名に由来しています。手前の枝の様な部分に2客直しが有ります。



20.

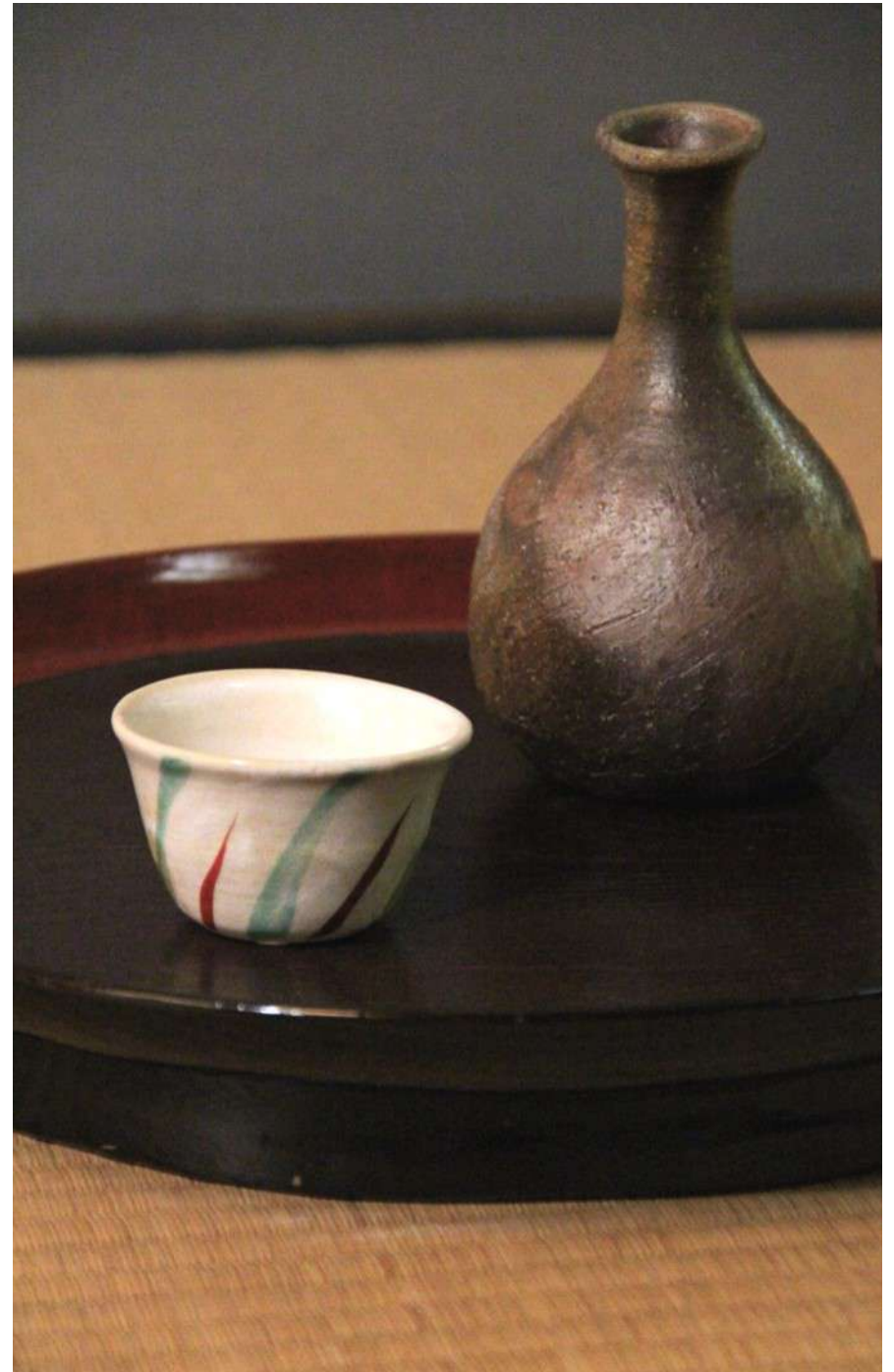
色絵筋文酒觴

小山 富士夫（号：古山子）

共箱
昭和
径7.5cm 高さ4cm

白地に赤と緑で上絵付した盃です。
高台に「古」の描銘があります。
箱書きは、「酒觴 色絵筋文 古山子」と書かれています。酒觴は「しゅしょう」と読みます。

小山富士夫は、陶芸家であり、中国陶磁器研究の大家でもありました。古山子は陶芸家としての号です。



21.

古伊万里 染付花文徳利

江戸時代

口径2.2cm 胴径11cm 高さ22cm

全体的に花文様が描かれています。
徳利と貼札がありますが、そのまま飾っても良いです
し、一輪挿しとしても良いかもしれません。

甘手と呼ばれる全体的に貫入が入っています。
高台に小さなホツとひつつきが見られます。



22.

青磁袴腰香炉

二代 諏訪 蘇山

共箱

大正 - 昭和

径15cm 高さ16cm

本作の香炉の形は、中国古代青銅器の器形に倣って作られたものです。日本では袴を身につけた姿に見て袴腰と呼ばれています。普通のものよりも大きめです。火舎は純銀製で、金工師の佐野公勝が制作しました。

諏訪蘇山は代々続く京都の陶芸家です。当代は四代目になります。



23.

耀貝飾箱 翔

服部 俊昇

共箱
昭和 - 平成
径16cm×16cm 高さ10cm

作者の服部俊昇は京都の漆芸家です。
翔と名付けられた飾箱です。
蓋の表にはタイトルの鶴が3羽飛んでいる様子が蒔絵
されています
側面には耀貝（螺鈿）が嵌め込まれています。
内側は黒塗になっています。



24.

夏果図幅

三輪 晁勢

共箱
絹本
昭和
幅74cm 長さ154cm

スイカ、ナス、キリギリスが描かれた掛軸です。
本紙の下部分が少しだけ薄黒いシミがあります。
三輪晁勢は新潟出身で、堂本印象が画塾東丘社に入門し、のちに堂本印象の妹と結婚しました。



25.

額 『独釣図』

浅川 伯教

紙本

大正 - 昭和

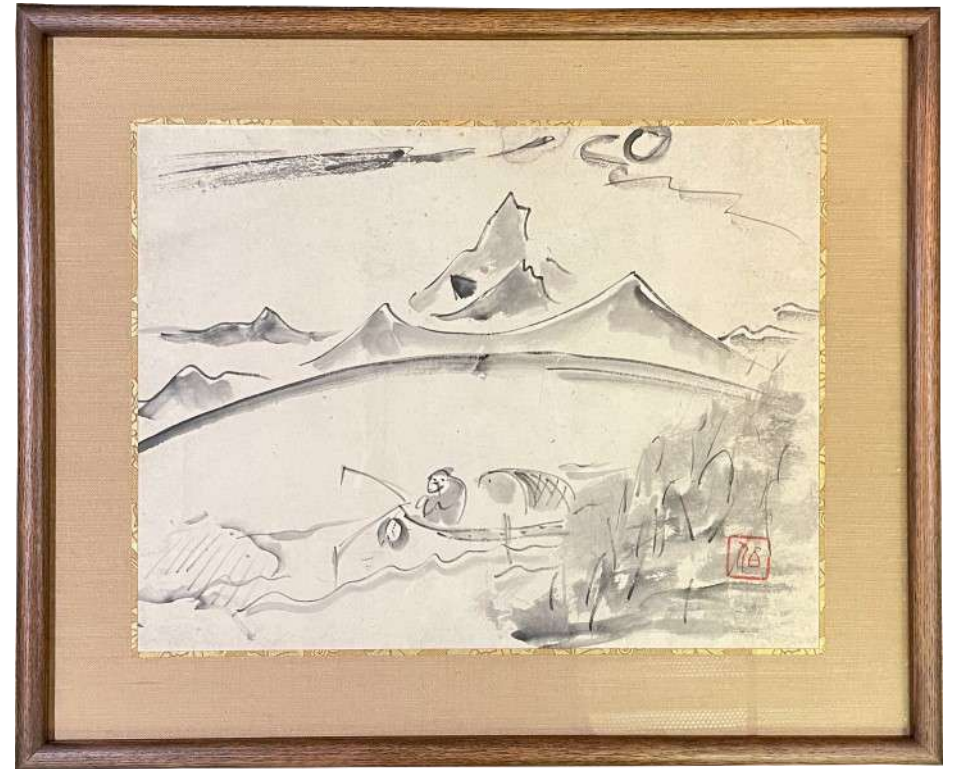
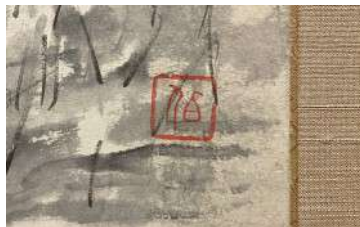
額：縦49.5cm 横60cm

軽妙洒脱な筆致で、舟を浮かべて釣りをする情景が描かれています。

右下には「伯」の印があります。

全体的にシミや汚れが見られます。

浅川伯教は、京城（現ソウル）に、柳宗悦や弟の巧とともに、文化擁護と継承のため朝鮮民族美術館を設立した朝鮮陶磁研究家です。



26.

額 『五風十雨』

熊谷 守一

熊谷守一水墨淡彩画鑑定登録会

墨跡鑑定登録証書

共シール

1974年

額：縦60cm 横51cm

「五風十雨」とは、五日ごとに風が吹き、十日ごとに雨が降るということで、気候が穏やかで順調なことで、豊作の兆しとされます。また、世の中が平穏無事であることの例えとしても用いられます。

左下に「九十五才」と書いてあります。

熊谷守一は、明治から昭和にかけ、97年の長い人生の中で、多くの人々に愛され、油彩、墨絵、書など多くの作品を残しています。



作家略歴（五十音順）

浅川 伯教（あさかわ のりたか）

1884（明治17）年 - 1964（昭和39）年
朝鮮古陶磁研究者。山梨県北巨摩郡甲村五丁田（現・北杜市）出身。新海竹太郎にまなぶ。明治44年朝鮮へわたり、朝鮮陶磁器の発掘と古窯の研究につとめる。大正13年柳宗悦らと京城に朝鮮民族美術館を開設した。浅川巧は弟。

永楽 即全（16代永楽善五郎）

1917（大正6）年 - 1998（平成10）年
14代得全の甥15代正全の子。妙全の養嗣子。三井家・三千家に入入りし数々の名品を作る。茶道隆盛と共に現代の名工の一人に数えられる。

永楽 妙全（14代 永楽 善五郎）

1852（嘉永5）年 - 1927（昭和2）年
京都の女性陶芸家。本名は悠。夫は永楽得全（14代善五郎）。技量に優れ作品への評価は高い。

永楽 即全（16代永楽善五郎）

1917（大正6）年 - 1998（平成10）年
14代得全の甥15代正全の子。妙全の養嗣子。三井家・三千家に入入りし数々の名品を作る。茶道隆盛と共に現代の名工の一人に数えられる。

加藤 卓男

1917（大正6）年 - 2005（平成17）年
岐阜県多治見市生まれ。父 5代加藤幸兵衛に師事。古代ペルシア陶器の斬新な色彩や独創的な造形、釉調に魅力を感じ、西アジアでの長年の発掘研究を経て、滅び去った幻の名陶ラスター彩の

復元をはじめ、青釉、三彩、ペルシア色絵など、高い芸術性を持つ異民族の文化と日本文化との融合に成功。平成7年に人間国宝に認定。

河井 寛次郎

1890（明治23）年 - 1966（昭和41）年
島根県生まれ。東京高等工業学校窯業科卒後、京都市陶磁器試験場に入所。京都市五条坂に窯を築き作陶を行う。東洋古陶磁の技法による作品を制作していたが、民藝運動に関わり、実用を意識した作品に取り組むようになる。文化勲章、人間国宝、芸術院会員への推薦を辞退。

楠部 弥弍

1897（明治30）年 - 1984（昭和59）年
染付、青磁、鈎窯、仁清風など、作風は多技多彩。彩堦と名付けた釉下彩磁は独自のものである。また京焼の伝統を踏まえた色絵は優美と言われる。帝展や日展などで活躍。昭和53年、文化勲章受章。

6代 清水 六兵衛

1901（明治34）年 - 1980（昭和55）年
5代六兵衛の長男。昭和20年家業の京都清水焼を継ぐ。号は禄晴。伝統的な京焼の技法に釉薬や焼成の新技法を加える。31年「玄窯叢花瓶」で芸術院賞。51年文化功労者。芸術院会員。

熊谷 守一

1880（明治13）年 - 1977（昭和52）年
写実画から出発し、表現主義的な画風を挟み、やがて洋画の世界で「熊谷様式」ともいわれる独特な様式、極端なまでに単純化された形、それらを囲む輪郭線、平面的な画面の構成をもった抽象度の高い具象画スタイルを確立した。「二科展」に出品を続け「画壇の仙人」と呼ばれた。

小山 富士夫（号：古山子）

1900(明治33)年 - 1975(昭和50)年
中国陶磁器研究の大家・陶芸家。号：古山子。岡山県浅口郡玉島町（現・倉敷市玉島）出身。主に鎌倉市を拠点にして執筆、陶磁器研究では、中国北宋時代の名窯、定窯跡を発見し、世界的な陶磁学者として名声を確立。晩年に至るまで実証的東洋陶磁研究をして、古陶磁研究書など多く執筆寄稿。晩年には、岐阜県土岐市泉町に「花の木窯」を開き作陶。陶芸家として、茶器を始め多様な作品を造った。

二代 諏訪 蘇山

1890（明治23）年－1977（昭和52）年
明治23年(1890)石川県金沢に生まれ。本名は虎子。初代蘇山の実弟・好直の次女。幼くして初代蘇山の養女となり、初代の指導のもと作陶を学ぶ。大正11年初代歿後、二代目を襲名する。大正13年第65回美術展覧会に『青影盗尊式花瓶』を出品し銅賞受賞。以後、京都市工芸展、五条会展などにその制作を発表し、受賞を重ねる。皇太子殿下買上、九邇宮家買上。昭和35年実弟・米澤蘇峰の次男・修を養子として迎え、昭和45年代を譲り二代を退く。

富本 憲吉

1886(明治19)年 - 1963(昭和38)年
奈良県生まれ。東美校図案科卒業後、留学先の英国で工芸品に感銘を受け、帰国後、陶芸家バーナード・リーチとの出会いを機に作陶を始める。奈良に窯を築き、その後、東京に住まいを移し窯を築く。晩年は京都に移住。人まねではない独自の模様や造形に終世こだわり続けた。

14代 中里 太郎右衛門

1957（昭和32）年 -
13代　中里太郎右衛門の長男に生まれる。武蔵野美術大学　造形学部彫刻学科卒業、同大学大学院　修了。1983年、13代　中里太郎右衛門陶房にて作陶を始める。第16回日展にて叩き青唐津手付壺「貝緑」初入選。第5回アジア工芸展にて文部大臣賞 受賞。2002年、十四代 中里太郎右衛門を襲名。第50回日本伝統工芸展にて「叩き唐津焼締壺」入選。第52回日本伝統工芸展にて「唐津井戸茶碗」入選。以後、平成22年まで6回入選。2007年、日本工芸会正会員となる。2011年　唐津市政功労者表彰を受ける、紺綬褒章受章。

服部 峻昇（はっとり しゅんしょう）
1943（昭和18）年 - 2018（平成30）年
昭和18年京都生まれ。塗師の上原清、
漆芸家の浦省吾に師事。工芸展などで
数々の賞を受賞しながらヨーロッパ、
アメリカ、中国、韓国などを渡り技を
磨く。また、1970年から1978年までは
京都の若手漆芸家グループ「フォル
メ」に参加し、同人活動を行う。同38
年、日展初入選。以降、日展をはじめ
とする展覧会に出品し、幾多の栄誉あ
る賞に輝く。平成7年、ローマ法王ヨハ
ネ・パウロ二世に謁見して典書台を献
上。同16年、京都迎賓館主賓室の飾棚
を制作。

濱田 庄司
1894（明治27）年 - 1978（昭和53）年
神奈川県生まれ。東京高等工業学校
（現東京工業大学）窯業科に入学、板
谷波山に師事。同校を卒業後は、河井
寛次郎と共に京都市立陶芸試験場にて
主に釉薬の研究を行う。この頃、柳宗
悦、富本憲吉、バーナード・リーチの
知遇を得る。大正9年、イギリスに帰国
するリーチに同行、共同してセント・
アイヴスに築窯。大正13年、帰国し、
沖縄 壺屋窯などで学び、その後、栃木
県益子町で作陶を開始。昭和30年、人
間国宝に認定。

松井 康成
1927（昭和2）年 - 2003（平成15）年
長野県生まれ。明治大学を卒業し、茨
城県笠間市にある浄土宗月崇寺の住職
の跡を継ぐ。その後、廃窯となってい
た、山門下の窯を再興し、東洋陶磁の
研究を行う。栃木県の田村耕一に師
事。練上手の技法を研究し、完成さ
せ、昭和44年には、第9回伝統工芸総裁
賞や日本陶磁協会賞などの数々の賞を

受賞。平成5年、人間国宝に認定。

三輪 晁勢
1901（明治34）年 - 1983（昭和58）年
新潟県出身。京都市立絵画専門学校(現
京都市立芸大)卒。堂本印象に師事し、
東丘社に入る。昭和6年帝展で「春
丘」、9年「舟造る砂丘」がともに特
選。戦後日展で活躍,37年「朱柱」で芸
術院賞。54年芸術院会員。鮮明な色調
による花鳥画,風景画を得意とした。

Memo

文月優遊

RENPOUDO

SUMMER

COLLECTION

奥田連峯堂

TEL:075-561-3655

FAX:075-525-1148

営業時間：11時 - 18時

定休日：毎週水曜

〒605-0073 京都市東山区祇園町北側244

<https://www.renpoudo.com>

✉renpoudo@mth.biglobe.ne.jp

Instagram



okuda_renpoudo

Web

